



NO	事業名 (事業期間)	事業 開始 年度	申請 区分	事業計画	A.計画額 (交付額)	B.実績額 (交付額)	C.差額 (交付額)	重要業績評価指標 (KPI)	当初値	単位	1年目	2年目	3年目	増加分累計	R3年度の事業結果及び今後の方針	担当課	
											上段:目標 下段:実績	上段:目標 下段:実績	上段:目標 下段:実績				
3	小山市渡良瀬遊水地エ コ・アグリツーリズム推進 拠点整備事業 (効果促進事業) (令和1～令和3年度)	R1	単独	<p>・治水、環境、農業、観光等、遊水地関係の各団体や地域関係者間の調整・合意形成を図り、交流人口の拡大と湿地環境の保全の両立を図るとともに、地域活性化につなげる。</p> <p>・農産品や特産品の品質・付加価値の向上に努めるとともに、新たな販路として交流館を最大限活用し、地域ブランド力の向上や観光客等の満足度の向上を図る。</p> <p>・周辺自治体と連携した交通手段を確保することで、さらなる観光誘客の促進・交流人口の拡大を図る。また、渡良瀬遊水地の保全・再生活動に取り組むことにより、貴重な自然環境の保全を図る。</p> <p>・自然観察・体験プログラムや野菜等の収穫体験等エコツーリズムとアグリツーリズムを通して、交流人口の拡大に取り組み、持続的な地域活性化の仕組みを構築する。</p>	(R1) 5,440 (2,720)	(R1) 3,390 (1,695)	(R1) 2,050 (1,025)	施設売上げ額	0	千円	0	1,200	1,300	(4年目:1,500) (5年目:2,000) 6,000	【事業結果】 ①「渡良瀬遊水地コウノトリ交流館」を活用し、渡良瀬遊水地の最新情報を発信した。 ②特別天然記念物のコウノトリのヒナが誕生したこと的话题性により、特に繁殖期間を中心に多くの入場者を迎えた(R3年度計10,447人)。 ③コロナ禍においても工夫を凝らし、ヨシ灯り制作体験や生きもの観察イベント等を実施し計328人の参加を得た。 ④渡良瀬遊水地に自生するヨシを活用したお土産品として、ヨシ染めハンカチやコーヒー(ドリップパック)等を交流館にて販売したが、交流館を使った物販イベントは実施できず、目標の売り上げを確保できなかった。	自然共生課	
								施設利用者	0	人	0	1,200	1,300				(4年目:1,500) (5年目:2,000) 6,000
								体験型イベント参加者	0	人	0	300	300				(4年目:300) (5年目:300) 1,200
4	小山市の歴史・文化・自然・インフラを活用したま ちなかの魅力磨き上げ 推進計画 (令和2～令和4年度)	R2	単独	<p>新幹線が停車する小山駅の徒歩圏内にあるまちなかの地域資源の歴史的・文化的背景、自然豊かさや身近さを活かしたゆしみ方の発信するとともに、歴史・文化、自然、日常の体験を通して、人々の本市への興味・関心が高まり、これらを目的とした多くの人が、市外からも訪れ、回遊するようになることで、交流と賑わいを創出し、まちなかの訪問人数・滞在時間を増加させ、まちなか経済の活性化を目指す。</p> <p>①歴史体験プログラム企画に係る事前調査 ②城山公園魅力発信の企画立案・運用 ③事業実施計画・進行管理の作成</p>	13,000 (6,500)	8,888 (4,444)	4,112 (2,056)	祇園城通り歩行者数	2,500	人/日	60	80	110	250	【事業結果】 ①城山公園及び周辺地域が持つ歴史・文化、風土、日常を様々なアプローチから体験プログラムとして開発するため、地域資源のリサーチや市民ニーズの把握、プログラムの検討などを行った。 ②対象区域に特化した新たなWebサイト及びSNSの運用、城山公園および周辺地域の歴史・文化、城山公園の変化の記録(工事の進捗など)や再整備の背景などを発信した。 ③社会実験実施に向けて、対象区域におけるパークレット設置位置と設計検討、及び道路占用申請に必要な書類作成等を実施した。 ④社会実験実施にあたり、パークレットの設置及び管理を実施した。 ⑤河川空間の賑わい創出や、新たな活用の有効性・安全性の検証、河川利用についての課題整理等を目的として、思川の水上を活用したアクティビティの社会実験を実施した。 ⑥アンケート調査や効果検証・分析を実施した。	まちづくり 推進課	
								小山駅西口地域の新規出店数	0	件/年	2	2	2				6
								小山駅西口地域の居住人口	4,000	人	50	50	50				150
								小山駅西口地域の滞在人口	0	人	9	238					
											100	100	100	300	【今後の方針】 ・歴史体験プログラムの開発を行うとともに、プロモーションを実施する。 ・低未利用地となっている駐車場や空き地を活用した広場の検証、中心市街地に隣接する思川の周辺を活用した水辺アクティビティや屋外シアター、キャンプ等の野外活動の各社会実験を実施する。		

NO	事業名 (事業期間)	事業 開始 年度	申請 区分	事業計画	A.計画額 (交付額)	B.実績額 (交付額)	C.差額 (交付額)	重要業績評価指標 (KPI)	当初値	単位	1年目	2年目	3年目	増加分累計	R3年度の事業結果及び今後の方針	担当課
											上段:目標 下段:実績	上段:目標 下段:実績	上段:目標 下段:実績			
5	移住定住女子力小山の 魅力発信計画 (令和2～令和4年度)	R2	単独	<p>「おやまに新しいひとの流れをつくる」「全国の若者、女性から選ばれるまち」の実現に向けて、情報発信を展開している女性を中心とした「魅力発信チーム」を発足させ、女性ならではの発想や視点を活用した、市内事業者等と連携、小山の魅力を国内外に発信する各種事業を推進することにより、小山市の魅力向上と、関係人口の創出・拡大による地域の活性化を図る。</p> <p>・会議運営 ・勉強会・講演会の開催 ・ロゴデザイン作成事業 ・有料広告によるチーム・小山市プロモーション情報発信</p>	5,500 (2,750)	4,197 (2,098)	1,303 (652)	魅力発信チーム各メンバー に関わる販売金額の合計	0	万円	0	400	600	1,000	<p>【事業結果】</p> <p>①FM世田谷の番組にメンバーが出演し小山市の魅力について東京圏のリリスナーにPRした。また小山市農泊推進協議会と連携し、令和3年10月17日(日)に行われた「ふるさと帰郷フェア 2021ニッポン全国区ふるさとマルシェ」に出展し、小山ブランド認定品や、小山市で採れた野菜などを販売するとともに、小山市及びチームの知名度の向上を図った。</p> <p>②市内で行われた「西口まつり」「レインボーフェス」「おやまいち」に出展し、今後の活動の参考とするための市民アンケート調査を実施し、566件の回答を得た。出展に際し、小山市商工会議所及び小山市青年会議所と連携することで、チームオリジナルエコバックをアンケート協力者に配布し、チームの認知度及び発信力の向上に寄与した。</p> <p>コロナ禍の影響を受け、開催を予定していた市内でのイベントの開催が見送られたため、市内コミュニティFMでのオリジナル番組の制作により、市内向けのPR活動を行った。番組は第1木曜日と第3日曜日の月2回、メンバーが2名ずつ出演して放送し、メンバーの考える小山の魅力やメンバー自身が行っている活動について放送し、チームの認知度の向上だけでなく、小山市で輝く女性たちの存在についても市民を中心とするおラジリスナーにPRした。</p> <p>③楽天市場内「もんみや」ショップページにサックとおやま特設ページを掲載し、小山ブランド認定品などの小山市の産品を販売するEコマースを出展した。チーム特設ページには、3事業者8商品を掲載した。</p> <p>④メンバーの「稼ぐ力」醸成及びECサイトの今後の商品掲載の拡大を目指すため、株式会社ヤオコー 商品開発担当部長をお招きし、商品開発に係るセミナーを実施した。</p> <p>⑤小山市ファンクラブと連携し、より多くの方に「小山の魅力」を感じてもらうことで、小山市ファンクラブ「小山評定ふるさと応援し隊」会員増加のための入会受付・会員証交付および発送業務委託を実施した。その隊員となった人に対してさらに深い小山市への関心の持ってもらうため、会報冊子を作成し、隊員あてに送付した。</p> <p>【今後の方針】</p> <p>ECサイトサックとおやま特設ページへの出店団体の増加やより効果的な東京圏及び市内へのPRの手法等、各種事業においてこれまでの活動の結果を受けさらに内容を精査し、各事業について内容を深化させていく。</p>	シティプロ モーション課
								SNSのフォロワー数	0	人	100	300	600	1,000		
								魅力発信チームと連携した企業・団体の取組みの数	0	件	0	4	6	10		
				おやまファンクラブ「小山評定ふるさと応援し隊」隊員増加数	1,113	人	500	500	1,000	2,000						

※A: 交付金申請時の決定額 B: 事業終了後の精算額 (単位: 千円)

※B: 事業終了後の精算額

※A,B,Cについては千円単位

※KPI: 各年度の数値は増加分